

国際ロボット競技大会「ロボカップ 2017 名古屋世界大会」 の『テクニカルチャレンジ』で世界2位を獲得

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本克弘）は、7月27日～30日に名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）で開催された「ロボカップ 2017 名古屋世界大会 サッカーヒューマノイドリーグ」に出場しました。

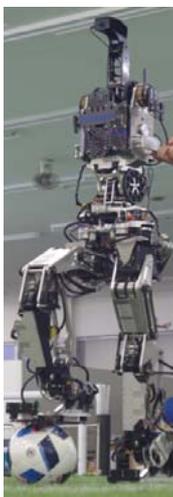
ロボカップは、ロボットと人工知能の新しい標準課題として「2050年、人型ロボットでサッカーワールドカップ・チャンピオンに勝つ」ことを設定し、その研究過程で生まれる科学技術を世界に還元することを目標としている国際ロボット競技大会です。当社は、アクチュエーターの共同研究パートナーである千葉工業大学と共同チーム『チーム KIS』として出場しました。

期間中に実施された競技の内、共同チームはロボットの身体能力を競う『テクニカルチャレンジ』で2位を獲得しました。『テクニカルチャレンジ』は4つの種目の合計ポイントを競う競技で、このうち、ロボットがおもりをぶつけられても倒れないように耐える『プッシュリカバリ』とロボットがどれだけ高くジャンプするのかを競う『ハイジャンプ』で1位を獲得しました。

ロボット競技では、転倒時などの衝撃による減速機の故障が課題の一つであり、『チーム KIS』のロボットには、軽量・コンパクトで高耐久という特長を持つ偏心揺動型減速機を新たに開発し、関節部分に搭載しました。おもりがぶつかったり、ジャンプしたりしたあとでも、ロボット関節の減速機は壊れることなく動き続け、減速機の堅牢さが示されました。

当社は、オープンイノベーションを通じて、今後も精密減速機 RV の性能向上に取り組んでまいります。

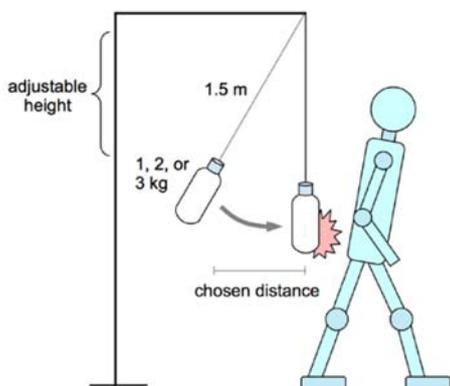
<参考>



『チーム KIS』のロボット



同ロボットに搭載された精密減速機の機構



「プッシュリカバリ」の競技方法



表彰状

<関連リンク>

ロボカップ 2017 名古屋世界大会：
<https://www.robocup2017.org/>

「ロボカップサッカー」表彰一覧：
<https://www.robocuphumanoid.org/h1-2017/results/>

以上